（４）庁内DXの高度化について
・Google Workspaceの更なる定着と活用促進

秋田県ＤＸ戦略本部事務局

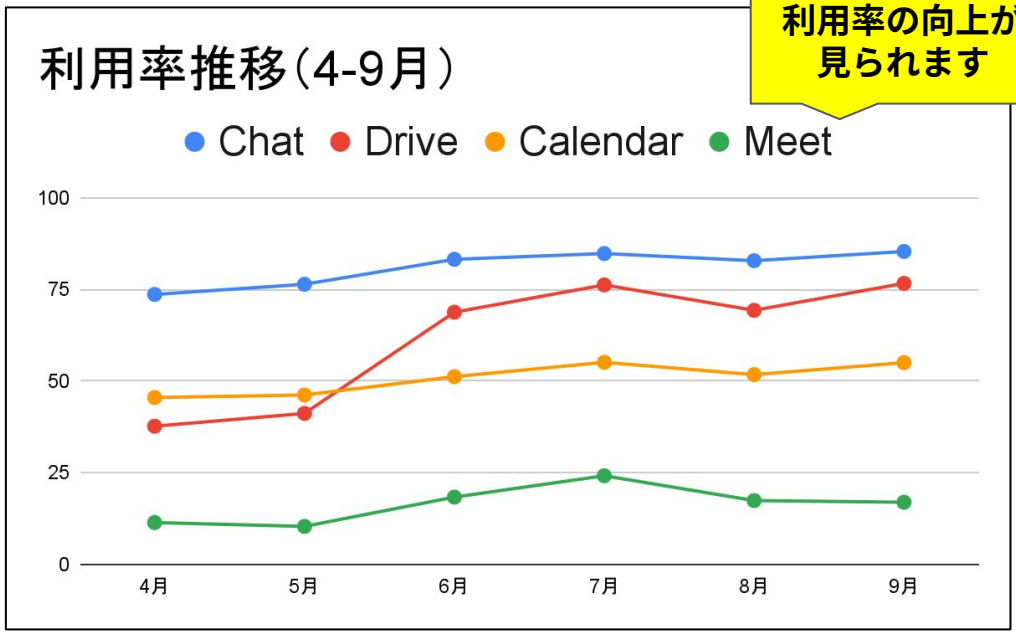
資料４－１

普及の取組

- ユーザートレーニング
- エバンジェリスト
- 働き方ルール
- 庁内改革推進プラットフォーム

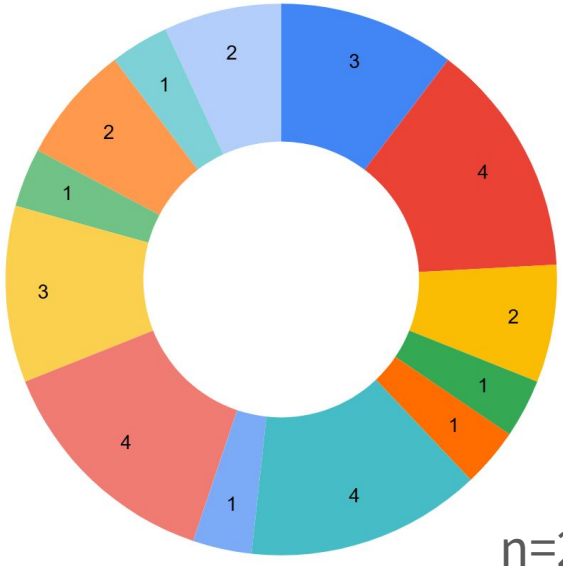
一部、Geminiによる画像生成

利用率の向上が見られます

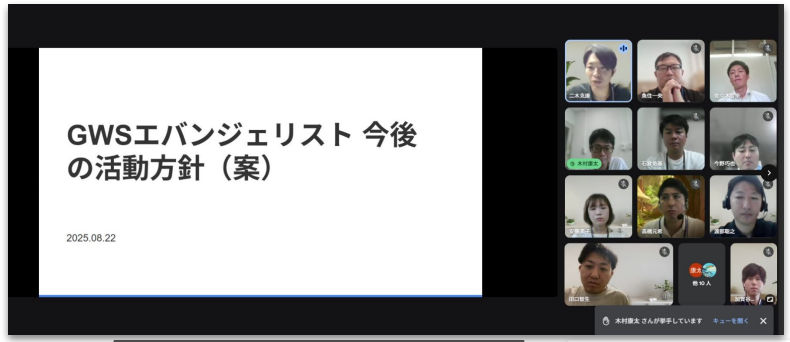


各部局のエバンジェリストによる普及活動

- 総務部
- 企画振興部
- あきた未来創造部
- 観光文化スポーツ部
- 健康福祉部
- 生活環境部
- 農林水産部
- 産業労働部
- 建設部
- 出納局
- 行政委員会等
- 教育庁
- 地域振興局



n=29



ＧＷＳ勉強会や活動会議

閲覧者1,000人超え

建設部担当エバンジェリストの事例　1/2

事例１：課室を横断した活用事例

NotebookLM- 議会答弁ボット

- H23以降の議会答弁を登録
- 過去の答弁を整理・要約
- 過去を踏まえた答弁の作成

NotebookLM- 旅費チャットボット

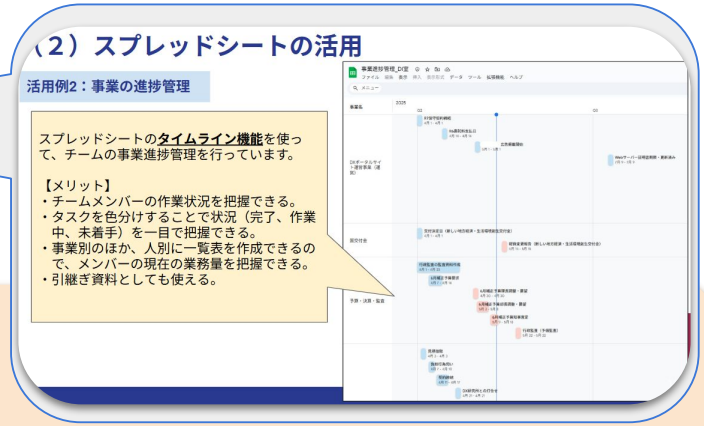
- 旅費規程、QAを登録
- 計算はできないため注意

Drive- 建設部共有ドライブ

- 会議の際はノートPC持参で閲覧
- 主に「**部次長検討**」、「**予算・決算**」、「**議会**」で活用

フォルダ命名規則を共有

各課室デジタル化リーダーとの定例ミーティングを開催



デジタル化リーダーによる各課室への周知

建設部担当エバンジェリストの事例　2/2

秋田県ＤＸ戦略本部事務局

事例２：営繕課での活用事例

現状と課題

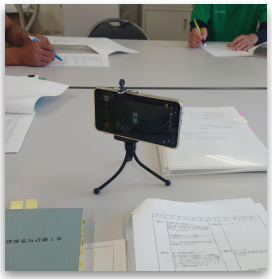
県内各地の現場への移動に時間を割かれる

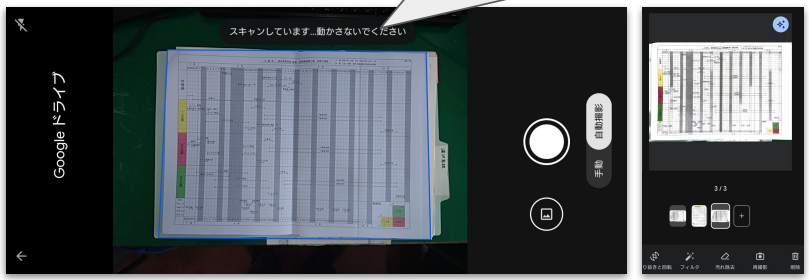
庁内への照会で紙での提出を求めている

デジタル化リーダー・課員と協力してGWSの業務活用を図る

Meet - 工事定例会リモート参加

- 他スケジュールの合間に参加
- リモート参加者は移動時間なし
- 業者との打合せの透明性確保





Drive，Chat - 照会のペーパーレス化

- 紙提出からデータ提出に
- 更新履歴から提出状況を確認

横展開による庁内への波及　（庁内改革推進プラットフォームへの掲載）

地域振興局担当エバンジェリストの事例

エバンジェリストとして　→　地域振興局ならではの課題を感じながら活動

事例①: 定例部・所長会議オンライン化支援

業務時間の削減に！

既存業務の見直し

(1)オンライン化による効果をレクチャー
(2)操作方法、手順をレクチャー
(3)開催方式を検討

表：オンライン化による効果

	従来(対面)	移行後(オンライン)
移動時間	あり	なし
出欠取りまとめ	あり	なし
議事録	手作業	自動作成

事例②: 所属でのルール整備と実践

コミュニケーション手段の見直し

・チャット等を活用し、電話で相手の時間を奪わない

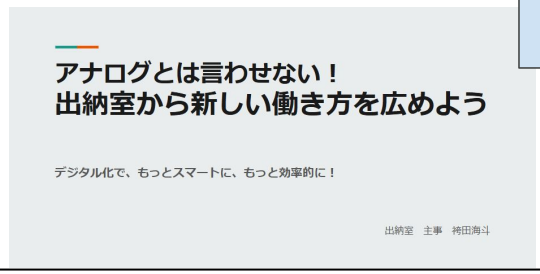
周囲を巻き込んだGWS導入推進

・経理担当者に向け、連絡手段をチャットにする旨の事務連絡を発出
・併せて、GWS利用の最初のハードルを下げるため情報も案内

表：アプリ使用による代替

スケジュール	手書き行動予定表廃止
チャット	緊急時以外の電話廃止
ドライブ等	資料の紙回覧廃止

(参考)北秋田出納室ルール



ムダを省く！

Google Workspaceの更なる定着と活用促進

💬活動から見えてきた課題感

- **従来のままの業務フロー**
- **慣習による活用阻害**

特に次の項目について積極的に活用を推奨してほしい

１．Googleドライブでの作業

- 仕事の基盤を可能な限りＧＷＳとする

２．オンライン会議

- 移動時間や待機時間の短縮
- 録画機能や生成AIによる議事録作成

３．生成AI

- 文章の要約や作成、アイデア出しなど強力に業務をサポート

※生成物の真偽を確認すること